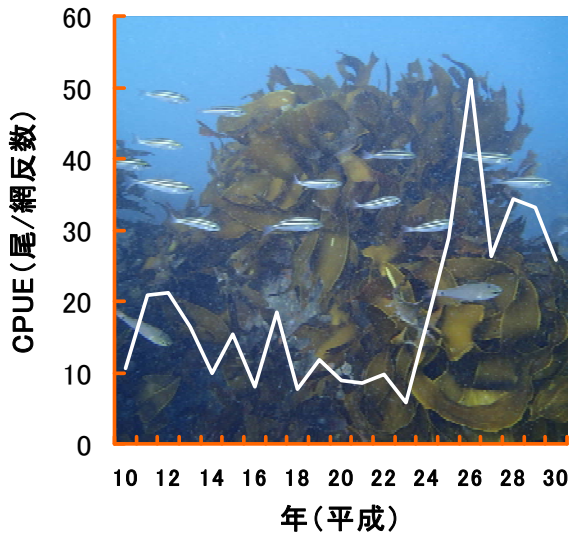




平成30年10月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

## 白浜地区のイセエビ礁の観察と試験操業結果



イセエビ礁での刺網によるCPUEの変化  
(背景はイセエビ礁のカジメ群落)

平成8年度に下田市白浜沖に県の事業としてイセエビ礁が造成されました。造成後は地元で管理され、毎年漁期前に操業区域の浮標設置や礁の状況確認が行われており、当场も協力しています。今年の調査ではイセエビ礁にはカジメ群落が形成されており、イセエビも観察され、生息場として良好であることがわかりました。

このイセエビ礁では、年に数回、イセエビの集まり具合や漁獲に対する効果を把握する刺網試験が行われています。その結果、造成後16年たった平成24年からCPUEが急増し、礁内のイセエビ生息密度が高まったことがわかりました。現在では、イセエビ礁周辺はよい漁場となり、礁の造成効果が上がっています。

解説：CPUE：漁獲量を漁獲努力量（操業人数や操業回数など）で割った指数。資源量の動向を表す指標として用いられる。ここでは、漁獲量を網数で割った。

## 分場新庁舎建設について

新庁舎の建設工事が順調に進み今年10月中に完成するため、11月上旬に仮設庁舎から新庁舎への引越しを行う予定です。その後、仮設庁舎の解体、次いで大型水槽等屋外飼育施設とポンプ室棟の建設が行われ、工事完了は7月末になります。それまで海水(流水)を使用した生物飼育試験は行えませんが、それ以外の業務は新庁舎で行うことになります。まだ、敷地内に駐車場はありませんので、



↑ 玄関側からみる新庁舎

国道135号を当场より下田駅寄りに200m離れた白浜板戸漁港内に駐車をお願いします。

## 漁業士と行政との意見交換会

9月28日に東伊豆町役場会議室にて東部地区漁業士会と県行政との意見交換会が開催されました。漁業士会から高田会長をはじめ23名、県行政から水産局長をはじめ6名、来賓として伊豆漁協組合長、漁業振興基金常務他が出席しました。今回はキンメダイ等の主要資源が低迷する中で、伊豆の漁業者がどのような展望をもって漁業を続けていくのかについて意見交換が行なわれました。



↑ 意見交換会の様子

解説：漁業士とは地域を担う漁業後継者で、県知事が認定します。

**10月の予定** ●フェリーを利用した西伊豆産水産物の静清地区への試験流通を実施します。 ●下田市白浜で漁業者と協力しながらテングサ漁場の雑藻刈りを行います。 ●稲取地区でもテングサ場保全のために雑藻刈りを行います。 ●12日に日本海藻協会のシンポジウムで当场職員がテングサについて講演します。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：[suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp) ホームページ：<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>